



虹の会通信

第75号 2019.1.10
金沢区手話サークル「橋の会」
発行責任者 田中 保
http://www.y-hashinokai.com

これからの予定 (関連団体含む)
1月17日(木) 講演会木村誠氏
3月2日(土) 金沢区福祉保健のつどい
4月11日(木) 「橋の会」平成30年度定期総会

■ 新年挨拶～田中会長

新年おめでとうございます。年初にあたり一言ご挨拶を申し上げます。橋の会の設立は1973年11月ですから現在45周年を迎えています。毎週活動できるのは、この間の歴代会長、役員及び会員のみなさまのご尽力のたまものであると、厚くお礼を申し上げます。橋の会は、学習・交流・広報各員会を基にした役員・運営委員会での協議により、各種活動を行っています。それには会員のみなさまの考えや思いが相互に通い合うことが大切であり、是非ともいずれかの委員会に所属して橋の会活動を盛り上げていただきたいと思います。加えて、金沢区社会福祉協議会、金沢区聴覚障害者協会、金沢区内手話サークルなど関連他団体との交流も深めていきたいと考えています。この一年間、会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 第28回手話入門講座 講師島野紫都氏(区聴協)～11月15日(木)～12月13日(木)



いきいきセンター金沢で開催された入門講座のお手伝いとして初めての参加でした。21名の受講生の皆さんの姿に初めて手話を学んだ頃を思い出しました。皆さんの静かではありますが、真剣な姿勢が伝わってきました。自分の名前、住所、趣味などを手話で表して、全5回の講座が終わりました。まだまだ、学びたい方が多かったのではないのでしょうか。島野先生から「細く、長く」が、手話を続けるには大切との話がありました。仕事や家庭事情で中断するかもしれませんが、そんな時でも、諦めずに手話の魅力に触れて欲しいと思います。受講された皆さんとサークルでお目にかかれるのを楽しみにお待ちしております。(岡田)

■ 西金沢学園福祉教育講演会 講師今悦子氏(区聴協)～12月13日(木)学園体育館



小中一貫制の6年から9年の生徒217名のみなさんは、「手話を学んでみよう!」・DVD「ろうを生きる」の事前学習を踏まえ、今氏の体験に基づく事例をまじえた講演と橋の会サポートによる手話体験に臨んでくれました。聴覚障がいと手話にかかわる多くの質問(後日返答)と一人ひとりから感想文をいただきました。(広報)

日ますき是非よ楽交 学
ですのい非なうし代十習
す。は。積さ考くで一委
。委と人極まえ学担月員
員て前的 て習当か会
会もでに今いがしらは
は勉手ご日ま進て会
第強話参のすめいの
二にで加一のらま進
木なはく言でれず行
曜りなだー ー。を

■ 各委員会報告

■ お楽しみクリスマス会～12月20日 いきいきセンター金沢 参加者50名



■ 主催: 区聴協～11月11日(日)・いきいきセンター金沢



アフロではない? 山本氏の話は、3年前に訪れた北朝鮮のあれこれ。機内食、トイレ事情、持ち込み制限品等の厳しい状況と、現地のろう者の様子や手話を動画を交えて伝えて下さいました。山本氏の手話は私には速すぎて読取りが難しかったのですが、表情豊かな話しぶりで雰囲気は十分わかり、あっという間の楽しい2時間でした。(吉田)

新コラムシリーズ
「ユニバーサルデザイン
(UD)」その1

10月の谷千春氏講演会でUDトーク(手話表現と説明)についての話がありました。UDとは年齢、性別、身体的状況、国籍、言語、知識経験などの違いに関係なく、全ての人が使いこなすことができる製品や環境などのデザインのことです。1990年代に米国のロン・メイス博士により提唱されました。